

R3-08

交通安全教育を柱にすえた教育活動

- 管 内 オホーツク管内
- 分 類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な探究の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

1 交通安全への取組を通し、生命の尊さと他者との関わりを学ぶ

取組の実際

ねらい

- 交通安全宣言に取り組む学校としての自覚を持ち、交通安全に対する意識の高揚を図るとともに、全校生徒の交通安全に対する意識の統一を図る。（交通安全宣言大会）
- 交通事故防止対策の一環として安全運転に必要な知識と技能の向上を図るとともに、交通事故の実情を学び、交通マナーやルールを守る自律力を養う。（交通安全実技講習会）
- 生徒の交通安全意識の高揚と生命尊重の精神を培うとともに、学校と地域に向けた交通安全の啓発活動を通して、他者との関わり方を学ぶ。（交通安全啓発活動）

内 容

1 交通安全への取組を通し、生命の尊さと他者との関わりを学ぶ

原動機付き自転車や車両による通学を認めている定時制課程にあつて、交通安全への取組は生徒の生命を守る重要な取組である。

外部機関との連携を図りながら、生徒の他者と関わるコミュニケーション能力を育み人間的な成長を図ることにも留意している。

(1) 交通安全宣言大会

- 警察署交通課職員による交通安全講話
 - ・おもに自転車、歩行者の交通安全について講話をいただき交通安全意識の高揚を図る。
- 生徒代表による交通安全宣言
 - ・生徒代表が校長に交通安全に努めることを宣言する。
 - ・全生徒は、「安全宣言」用紙に署名し、教室前掲示板に通年で掲示する。



【交通安全講話】

(2) 交通安全実技講習

自動車学校職員から交通安全についての講話をいただいた後、交通安全について体験的に学ぶ。

- 運転適性検査の体験
 - ・自動車学校の協力により、自動車学校の設備を使用し、運転適性検査を体験する。
- 免許取得者の体験的な学習
 - ・免許を所持している生徒は、教習コースにおいて自動車学校の指導員から、運転技術の指導を受ける。



【運転シミュレーション】

(3) 交通安全啓発活動

- 交通安全啓発大看板の制作
 - ・全生徒で役割を分担し、ベニヤ板4枚をつなげたキャンパスに交通安全啓発のための大看板を作成する。完成した大看板は、校舎外周のフェンスに設置し、通行する市民に交通安全を訴える。



【設置された大看板】

成果と課題

- 「交通安全宣言」の署名をはじめ、交通安全に関わる取組を全生徒で行うことにより、交通安全に対する意識の高揚を図ることができた。
- 街頭啓発活動など、直接、市民に訴える活動を充実させることで、さらに生徒のコミュニケーション能力を育み、交通安全意識の高揚を図る必要がある。